



# 園だより

名島保育園 園長 林田 睦子

2023. 11. 1

運動遊び参観には、多くの保護者の皆様にお越し頂きありがとうございました。  
子どもたちが、自分たちで考えて活動する姿を見て頂けたのではないのでしょうか？  
朝晩、冷え込み始めました。根菜類を食べて体を温めて、病気の予防に努めましょう(^^)

## 11 月の行事

2 日(木) 七五三参拝遠足  
\*2 階クラス対象

3 日(金) 文化の日

4 日(土) 子育て支援会  
クッキング教室

17 日(金) 現況届提出 締切り

18 日(土) 岡部先生講演会

22 日(水) 内科健診 (1 階クラス)

23 日(木) 勤労感謝の日

29 日(水) 内科健診 (2 階クラス)

## 11 月の一口メモ

【文化の日】—— 第二次世界大戦が終わった翌昭和 21 年のこの日、日本国憲法が公布。新憲法に基づき、「自由と平和を愛し、文化を進める」という趣旨で、昭和 23 年『文化の日』が制定された。芸術祭や文化勲章の授与などが行われる。

【勤労感謝の日】—— 勤労を尊び、豊かな生産を祝い、互いに感謝し合う日として昭和 23 年に制定。それ以前は新嘗祭と呼ばれ、米などの穀物を神に供えて感謝する農耕儀礼だった。

## ★気持ちの良いあいさつをしましょう★

笑顔が一番の化粧、挨拶は心の扉です。  
「おはようございます！」の挨拶はどうぞよろしくの心を込めて自ら笑顔でしましょう。  
ご家庭でも笑顔の挨拶で気持ちの良い 1 日をスタートさせましょう(^^)



## 《お知らせ・お願い》

※ 来年度（令和6年度）の保育所入所に係る書類「現況届」を配布致しておりますので、必要書類を確認の上、ご提出ください。

《来年度、名島保育園を継続利用される方》

- ① 「現況届」② 「就労証明書等（父母）」

《来年度、他園へ転園希望の方》

- ① 「現況届」② 「転園届」③ 「就労証明書等（父母）」

《来年度、退園希望（幼稚園等への転園）の方》

- ① 「現況届」② 「退園届」



いずれの方も、「現況届」の提出は必要ですので、11月17日（金）までに提出して下さい。

※ 「転園届」と「退園届」は保育園に書類がありますので、必要な方はお知らせ下さい。

現在、上のお子さんが名島保育園に在籍しており、来年度、下のお子さんも保育園に入所させたい場合は、上のお子さんの「現況届」とは別に下のお子さんの「新規申込書」が必要となります。その場合は、上のお子さんの現況届には就労証明書の原本を、下のお子さんの申し込みには、就労証明書のコピーを添付して下さい。

（新規申込締め切りは12月4日（月））

### ※ 「七五三参拝」 2階クラス対象

11月2日（木）の七五三参拝は香椎宮へお参りに行きます。

詳細は先日配布しましたプリントをご覧ください。

### ※ リトミック参観 2階クラス対象

12月のリトミック参観は18日（月）と25日（月）の2日間開催予定です。

両日同じ内容を行いますので保護者の方はどちらかの日程を選び参観して頂きます。

# 七五三って何？

女の子は3歳と7歳、男の子は5歳になった11月15日に晴れ着を着て氏神様に無事に成長できたことを感謝して、これからの健やかな成長を祈ります。本来は数え年（生まれた年を1歳とし、以後正月ごとに1歳ずつ加えた年齢）でのお祝いでしたが、今では満年齢（実年齢）で祝う事が多いようです。

子どもたちは受精したその瞬間から選ばれ、そして送り出された大切な命です。

お母さんのお腹の中にいても声も聞こえていますし、お母さんの心理状態も伝わります。

誕生してきた新生児は280日間の様々な異なった過去を持った立派な人間なのです。

昔は子どもが生まれても、病気で亡くなってしまうことも多く、7歳までは「神の子」と言われていました。そのため、平安時代から3〜7歳の子どもの成長の節目（厄年）に成長を祈る儀式が行われていました。また、奇数は縁起がよいとされているそうです。

3歳「髪置（かみおき）」・・・男女とも髪を伸ばしはじめる

5歳「袴着（はかまぎ）」・・・男の子が初めて袴をはく

7歳「帯解（おびとき）」・・・女の子が初めて帯を締める着物にかえる

## なぜ11月15日？

なぜ七五三が11月15日に行われるようになったのでしょうか？

- ・11月の「鬼宿日」にあたり、鬼が家にいる間に神社へお参りに行く
- ・旧暦の霜月（11月）の15日は「収穫祭」があり、その日に子どもの成長も祝った
- ・徳川綱吉が息子の髪置のお祝いをした日と、言う説があるそうです。

## 晴れ着を着るの？

3歳：晴れ着に兵児帯（へこおび）を結んで、「被布（ひふ）」と言われる袖無しの上着を着ます。さらに髪飾りや草履・こっぼりとあわせます。お宮参りの時の祝い着を仕立て直して着ることも。

5歳：いわゆる「紋付袴（もんつきはかま）」が基本。鷹や兜などおめでたい柄の羽織に袴をあわせ、白い扇子を持ち、白い鼻緒の雪駄（せった）を履きます。

「懐剣（かいけん）」（袋に入った小さな守り刀）を袴にはさんで身につけます。元は武家の女性が護身用に携帯したことから「いざという時は自分で自分の身を守る」という意味があるそうです。強い男の子になって欲しいという親心ですね。

左が扇子、右が懐剣



7歳：七歳の衣装は和装の花嫁衣裳を模したものです。

「四つ身」の着物を着て、「はこ迫（せこ）」（箱型の紙入れ）を懐に入れ、「志古貴（しごき）」と呼ばれる芯のない帯を帯の下に結び後ろに垂らします。さらに髪飾りや草履・こっぽりとあわせ、扇子を帯じめにはさみます。

はこ迫は昔、ごく一部の上流階級の女性のみが持つことができたクラッチバックや化粧ポーチのようなものです。

7歳後ろ姿。

帯も華やか、志古貴もかわいい！

胸元に、はこ迫



晴れ着は洋装でも大丈夫です。

## 千歳まで生きてほしい

引きずるくらい長い袋も長寿祈願のため。七五三にかかせない「千歳飴」。

「長くのびる飴のように、千年もの長い年月を健康に成長してほしい」という願いが込められています。江戸時代に浅草の飴屋がはじめたとされています。

